

# 山梨県甲府地域における対応の基本方針について

## 検討経緯

- 山梨県内における道路の渋滞対策を効率的に進めていくため、「山梨県道路交通円滑化・安全委員会」※(以下「委員会」)において、道路利用者の皆様から実感している渋滞箇所等を「主要渋滞箇所」として特定しました。
- このたび、「地域の主要渋滞箇所」の対応の基本方針を「委員会」において検討し、決定しました。

※「山梨県道路交通円滑化・安全委員会」の構成員

- |                   |                  |                  |                  |
|-------------------|------------------|------------------|------------------|
| ○学識経験者            | ○山梨県経済同友会        | ○甲府商工会議所卸売商業部会   | ○山梨県タクシー協会       |
| ○(一社)山梨県バス協会      | ○(一社)山梨県トラック協会   | ○(一財)山梨県交通安全協会   | ○(一社)日本自動車連盟山梨支部 |
| ○山梨県交通安全母の会連合会    | ○中日本高速道路(株)八王子支社 | ○山梨県             | ○山梨県警察本部         |
| ○国土交通省関東運輸局山梨運輸支局 | ○国土交通省甲府河川国道事務所  | ○国土交通省関東地方整備局道路部 |                  |

- H24.6 第10回委員会
- H24.8 第11回委員会
- H24.12 第12回委員会
- H25.1 主要渋滞箇所の特定
- H25.6 第13回委員会
- 対応の基本方針の公表

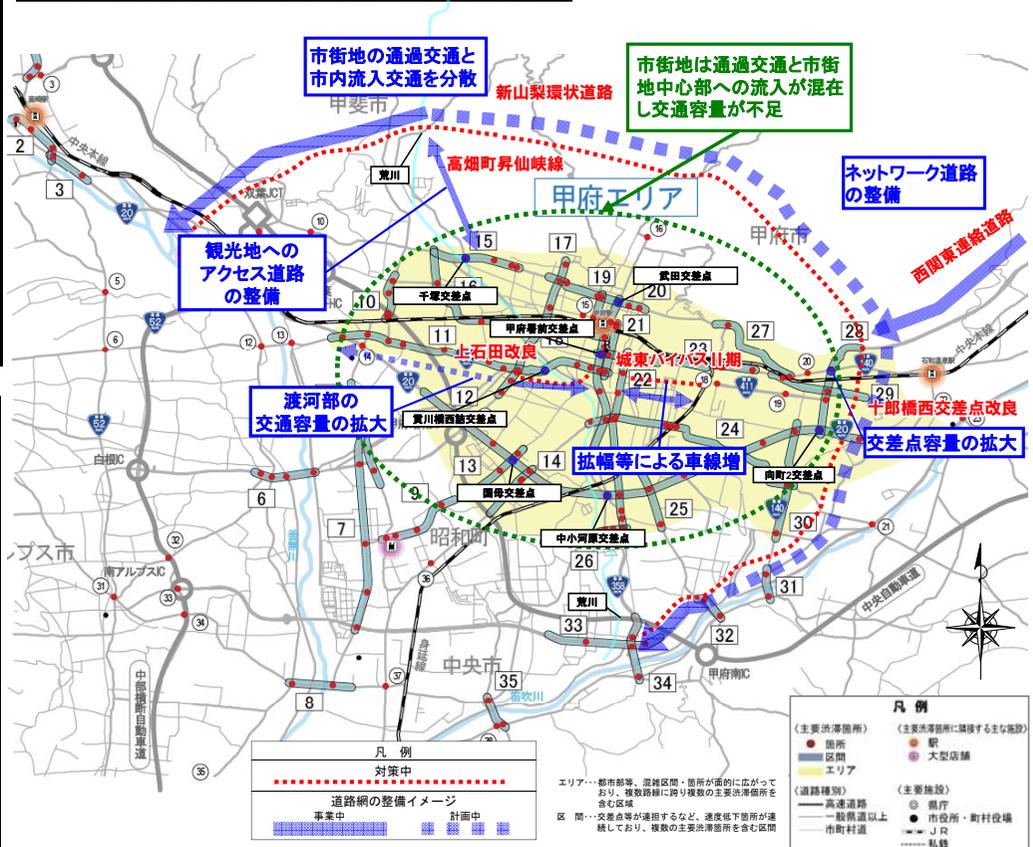
## 1. 山梨県甲府地域の概況

	概要
山梨県甲府地域の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県甲府地域は、国道20号、国道52号、国道140号、国道411号等、主要な幹線道路が地域内を通過しており、都市内交通と通過交通が混在している状況となっています。</li> <li>甲府地域の中央を南北に流れる荒川を挟んで旧市街地と新市街地が発展しており、旧市街地と新市街地を結ぶ橋梁が少ない状況です。</li> <li>鉄道やバスなどの公共交通機関があまり発達していないため、郊外の住宅地から市内への通勤、通学時に自動車を利用する割合が約6割と高くなっています。</li> <li>甲府地域には、昇仙峡や武田神社といった観光施設があり、年間約1,300万人の観光客が訪れています。</li> </ul>
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市間交通を担う主要な幹線道路が甲府地域の市街地を通過しているため、甲府地域に用事のない通過交通が流入し、都市内交通と通過交通が混在、集中して、甲府署前交差点などに渋滞が発生しています。</li> <li>甲府地域周辺に広がる住宅地域から、通勤・通学のために甲府地域に入ってくる主要な道路としては、東西軸としての国道20号、国道52号、国道411号及び甲府韭崎線などがあり、南北軸としては、国道358号、国道140号、甲府昇仙峡線などがありますが、甲府地域への流入部に限られていることから、西側からの交通は竜王駅入口交差点に集中し、南側からの交通は、国母交差点や中小河原交差点に集中、東側からの交通は、向町2交差点や十郎橋西交差点に集中し、交通集中による渋滞が発生しています。</li> <li>旧市街と新市街を結ぶ限られた橋梁に交通が集中しており、荒川橋(貫川橋西詰交差点)などに渋滞が発生しています。</li> <li>甲府地域には、主要な観光施設として昇仙峡や武田神社があり、中央自動車道甲府昭和ICからのアクセス道路となっている甲府昇仙峡線や甲府山梨線の、千塚交差点や武田交差点においては、休日や観光シーズンにおいて交通の集中による渋滞が発生しています。</li> </ul>

## 2. 対策の方向性

	概要
道路整備等	<ol style="list-style-type: none"> <li>都市間交通と通過交通の分離 市内を通過する交通を抑制し、適切に甲府地域に導入するため、環状道路や環状道路から市街地へ連絡する道路の整備を図ります。さらに、広域的な道路ネットワークの整備により多方面からの甲府地域へのアクセスを可能とします。 →環状道路の整備(新山梨環状道路) →ネットワーク道路の整備(中部横断自動車道、西関東連絡道路)</li> <li>甲府地域への流入部における渋滞対策 甲府地域へ流入する交通が集中するために渋滞している交差点については、環状道路の整備による交通の分散を図るとともに、拡幅等による車線の増加や交差点改良等のハード施策やIT技術を活用した道路情報の提供による交通の整流化や交差点処理の円滑化等のソフト施策を関係機関とも協力し実施してまいります。 →拡幅等による車線増(城東バイパスII期等)、交差点改良等(十郎橋西交差点改良等) →環状道路の整備(新山梨環状道路)</li> <li>旧市街地と新市街地の渡河部における渋滞対策 渡河部の橋梁に交通が集中するために生じている渋滞については、橋梁の架替えや線形改良により交通容量の拡大を図ります。 →交通容量の拡大(上石田改良等)</li> <li>観光交通の集中による主要観光地へのアクセス道路の渋滞対策 主要な観光地へのアクセス道路の主要渋滞箇所においては、交通容量の拡大やアクセス道路の整備などのハード施策と適切な交通誘導などのソフト施策を併せて実施してまいります。 →交通容量の拡大(上石田改良) →アクセス道路の整備(高畑町昇仙峡線等)</li> </ol>
ソフト施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路整備にあわせて、IT技術を活用した道路情報の提供による交通の整流化や交差点処理の円滑化等のソフト施策を関係機関とも協力し交通の円滑化を図ります。</li> </ul>

## 3. 山梨県甲府周辺の主要渋滞箇所と現在の対策等



## 今後の対応方針

- 各主要渋滞箇所の渋滞対策について、既存道路ネットワークの有効利用に取り組むとともに、道路構造上の問題などを抱える渋滞ボトルネック箇所について各道路管理者や警察が連携し、道路利用者等の協力を得つつ、検討箇所の抽出、渋滞要因の分析・対策の立案・実施を行なっていきます。
- 一都市間交通と都市内交通の輻輳に対する渋滞対策、甲府地域への流入部における渋滞対策、旧市街地と新市街地の渡河部における渋滞対策、観光交通の集中による主要観光地へのアクセス道路の渋滞対策を進めて参ります。
- 今後、渋滞箇所や渋滞状況が変わることが想定されることから、山梨県道路交通円滑化・安全委員会でも主要渋滞箇所やその対応方針について見直しを行って参ります。(PDCAサイクル)

